

詮伊豆守中条より上へ峰集ありて右家
をくしめある思常より玉をる眼前ありと憚り
中々皆むと評家た完りお立能き城を
降ふよ出る伊豆守大に悦び下流亦忠并一族乃
下動七郎戸井並大馬原八右衛門下呂佐井上平
助其外餘石具し山形着しと比古披露
義光公大に悦むと治亦忠其外一門悉く石出され
成庄内のはなけいといふ義を居しめて田川郡不
知新志き由忠に依出され水より水も難有仕合
里と悦むあり

庄内退治の事

一 義光志村伊豆守を下して宣ふ先年武后家亡
して庄内三郡を中に入知中庄重長に抑留され其後
上杉の領地となり尾浦亀嶽のあ城は城代を居る
以成庄内のはなけいといふ義を居しめて田川郡不
知新志き由忠に依出され水より水も難有仕合
里と悦むあり